

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	墨田区横川橋保育園
施設所在地	墨田区太平1-27-13

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「押す、転がす、写す」を楽しむ～版画の魅力に触れる～

<テーマの設定理由>

2025年の大河ドラマ「べらぼう」の舞台は、隅田川の対岸の吉原で喜多川歌麿などの浮世絵師が多数登場した。浮世絵木版画は、江戸時代に発展した日本の伝統芸術である。墨田区は富嶽三十六景などで有名な浮世絵師・葛飾北斎の生誕地で、保育園の近くに北斎美術館がある。そのような歴史的、文化的な背景を意識しながら、「版画」の世界を年齢発達に合わせて楽しむことを目標にテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

- ・第1回学習会（6月） 版画の楽しさについて学ぶ～講義とワークショップ（計3回）
- ・各クラスで何をどのように取り組むか検討した上で実践（7月～11月）
- ・第2回学習会（11月12日） 実践報告（2歳、3歳）と講師によるコメント及び講義
- ・第3回学習会（2月18日） 実践報告（0歳、1歳、4歳、5歳）と講師によるコメント及び講義
- ・報告書完成（3月） 講師～塩崎美穂氏（東洋英和女子大学）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

版画用のインク、ローラー、バレン、トレイ、スチレンボード、版画用和紙、ゆびえのぐ、ローラーあそび・スタンプあそび用の道具
パーティションを設置し、集中して活動できる環境を整えた。

4. 探究活動の実践

- ・0歳児クラス 描画・スタンプあそびなど
- ・1歳児クラス 野菜スタンプ、指スタンプなど
- ・2歳児クラス こいのぼりづくり、手形で表現する花火など
- ・3歳児クラス スチレン版画、野菜スタンプ、ビー玉ころがしなど
- ・4歳児クラス 野菜スタンプ、スチレン版画
- ・5歳児クラス スチレン版画、北斎美術館の見学など

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

スチレン版画では、まずインクを練り、練ったインクをスチレンボードにのせ、さらにその上から紙をのせてバレンでこする作業に、子ども達は楽しさを感じていた。バレンでこすり終えたあと、紙を持ち上げて刷り上がった作品を目にした時、子ども達は驚いたような、うれしいような何とも言えない素敵な表情だった。その後、版画の完成を保育者や友達と喜び合い、完成した作品を保護者に見てもらってさらに喜ぶことができた。



5．振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

版画に取り組んだのは初めてという保育者が多かったが、スタンプあそびなどを含め、いろいろな版画の手法を知り、各年齢に合わせて、様々な手法を用いて表現することを楽しめた点がよかった。